

ベイ、スペンサー

## PDCA 日本語ど下書き

3s (5s) モデルは、いろいろな業界で採用されている日本的な経営体系あります。アメリカにもたくさんな管理モデルがありますが、ここでは主にマッキンゼー 7-s モデルと比べ物します。これらのモデルも名前に同じ頭韻システムを使用しています。つまり、これらのモデルは「標準化」という点で共通しているだけですが、それでも完全にはありません。翻訳で、これのモデルは「標準化」という点で共通している、それでも完全に同じではありません。

5s モデルの 5 つのポイントは「整理」と、「整頓」と、「整理」と、「清潔」と、「しつけ」。あります。これらのポイントの目的は、従業員が清潔な作業空間を維持することを奨励することあります。きれいな職場は、物理的にも精神的にも無駄遣



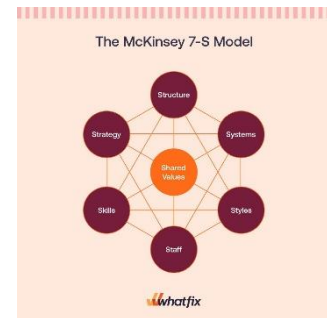
いをなくす効果があると考えられています。この仕方は、トヨタ自動車によって完成されました、自動車製造や商品取引などの多くの産業で事業を展開する。この点についてはさらに詳しく説明します。

マッキンゼー 7 モデルのポイントは、「構造」と、「システム」と、「様式」と、「部員」

と、「腕前」、戦略、共有価値観あります。このポイントはハ

ード要素とソフト要素に分かれています。ハード要素は指導員

によって使用され、ソフト要素は無形のもあります。7s モデ



ルは、管理者が社内でバランスを取る必要があるいろいろな要素を説明するために存在

します。

5s モデルでは、過程の作成とそれを維持することに重点が置かれています。「過程」

を重視することもの日本文化の部分ありあます。一番の「S」は整理あります。これ

は、作業領域から不要なアイテムを取り除くことを意味します。たとえば、必要な道具

のみを特定の作業領域に配置します。この目的は、気が散ることを減らし、検査を簡素

化し、安全性を上がります。二番の「S」は（整頓）、つまり職場の物を所定の位置に

置くという意味あります。前のポイントと同様、この目的は効率的な業務フローを確保

することあります。アイテムが簡単にアクセスできる場所にあると、人々はアイテムを

探すのに無駄な時間を費やすことが少なくなります。たとえば、道具を配置する場所の

輪郭を作成したり、棚に明確に荷札を付けたりします。これは、これのアイテムの互い

に対する完璧な配置をさらに研究することで改善できます。三番の「S」は清純（清

楚)、清潔を意味します。この目的は、従業員が安全で幸せであることを確認すること  
あります。たとえば、床をこぼれや汚れから守ることで、作業者の安全が確保されま  
す。さらに、これにより、作業領域に慣れていない人でも組織と過程を理解できるよう  
になります。四番の「S」は職場の手順を作り、職場を維持することあります。これ  
は、前の三つの要素を維持するために存在し、その方法を定義します。「整理」のた  
めの空間をどう確保するかを考える時、どのアイテムが必要で、どのアイテムが不必要  
かを判断する過程が必要です。アイテムを指定された場所に置くときは、アイテムがあ  
るべき場所にあることを他の人に知らせる過程が必要です。空間を掃除するときは、何  
をどのように掃除するのかという過程や、何かを「清い」にするための均衡が必要あり  
ます。最後の「S」はしつけなので、前の要素を踏襲する必要があります。自主的に行  
動する社員には、職場の秩序を維持するための直接の管理は必要ありません。これに上  
司の負担が引き下げられます。この例は、新しい作業者に過程を養成し、手順が遵守して  
いるかを定期的にチェックすることが挙げられます。

この方法は、気を散らすものと不潔なものを取り除くため、職場の効率を上げられるのに  
効果的あります。これにより、上司に、用の完了を監視する負担が軽減されます。この  
方法は作業員の安全を確保しようとし、それ以上のことはほとんどしません。